

6月定例会号

目次

- ・議会構成の紹介 P2
- ・6月定例会等の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・台湾・台南市議会との覚書締結など P12

わかやま 市議会 だより

No.094 令和元年(2019年)9月1日発行

全力で挑む!



市立和歌山高等学校野球部

「市高ICHIKO」の愛称で親しまれる市内唯一の市立高校。野球部は11回の甲子園出場経験を持つ。「走姿顕心」をモットーに、部員一丸となって全力で頑張っています。

就任のご挨拶

市民の皆様には、日頃から議会活動及び市政発展にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

このたび私どもは、統一地方選挙後、初の臨時市議会におきまして、和歌山市議会の議長、副議長に就任し、その責任の重さを、今痛感しているところです。さて、今年は「ねりんピック紀の国わかやま2019」が本市で開催されます。和歌山市議会として、成功裏に終わられるよう取り組むとともに、健康長寿のまちづくりを一層促進する好機と捉え、関連施策を推進して参ります。

和歌山市議会は、市民の皆様の期待と信頼に応えられるよう精一杯取り組んでいく所存です。今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。就任のご挨拶といたします。

和歌山市のために全力で挑む!

議長・副議長の経歴



副議長

まつもと てつろう
松本 哲郎

(令和元年5月24日就任)
平成15年初当選 現在5期目
経済文教委員会委員長、議会運営委員会副委員長、和歌山市監査委員、和歌山市農業委員会委員などを歴任



第86代議長

いのうえ なおき
井上 直樹

(令和元年5月24日就任)
平成15年初当選 現在5期目
厚生委員会委員長、公営企業決算特別委員会委員長、議会運営委員会委員長、和歌山市議会副議長などを歴任

常任委員会の構成 (令和元年6月4日現在)

厚生委員会 (定数9人)



委員長

にしかぜ あきよ
西風 章世
(公明党議員団)



副委員長

かわばた やすふみ
川端 康史
(民主クラブ)



やまの まいこ
山野 麻衣子
(日本維新の会)



さかくち たみこ
坂口 多美子
(日本共産党議員団)



よしもと まさゆき
吉本 昌純
(和歌山興志クラブ)



しばもと かずき
芝本 和己
(政和クラブ)



ふるかわ まさのり
古川 祐典
(自由民主党市議団)



みなみはた さちよ
南畑 幸代
(日本共産党議員団)



おくやま あきひろ
奥山 昭博
(公明党議員団)

総務委員会 (定数10人)



委員長

なかに けんじ
中谷 謙二
(自由民主党市議団)



副委員長

あかまつ よしひろ
赤松 良寛
(和歌山興志クラブ)



いもと ゆういち
井本 有一
(日本共産党議員団)



やまなか としお
山中 敏生
(民主クラブ)



にわ なおこ
丹羽 直子
(自由民主党市議団)



やぶ ひろあき
藪 浩昭
(公明党議員団)



とだ まさと
戸田 正人
(政和クラブ)



ひめだ たかひろ
姫田 高宏
(日本共産党議員団)



まつもと てつろう
松本 哲郎
(公明党議員団)



きたの hitoshi
北野 均
(政和クラブ)



建設企業委員会 (定数9人)



委員長
そのうち ひろき
園内 浩樹
(公明党議員団)



副委員長
なかむら もとひこ
中村 元彦
(自由民主党市議団)



なかむら あさと
中村 朝人
(日本共産党議員団)



なかしょうや こうじろう
中庄谷 孝次郎
(日本維新の会)



なかつか たかし
中塚 隆
(公明党議員団)



おざき まさや
尾崎 方哉
(和歌山興志クラブ)



そらがわ あつし
寒川 篤
(民主クラブ)



やまもと こういち
山本 宏一
(政和クラブ)



うじた せいじ
宇治田 清治
(自由民主党市議団)

経済文教委員会 (定数9人)



委員長
ながの ひろひさ
永野 裕久
(民主クラブ)



副委員長
ほり よしこ
堀 良子
(公明党議員団)



はまだ しんすけ
浜田 真輔
(和歌山興志クラブ)



もりした さちこ
森下 佐知子
(日本共産党議員団)



やまもと ただすけ
山本 忠相
(民主クラブ)



まつい のりひろ
松井 紀博
(政和クラブ)



なかお ともき
中尾 友紀
(公明党議員団)



さへき しげあき
佐伯 誠章
(政和クラブ)



えんどう ふしお
遠藤 富士雄
(自由民主党市議団)

地震等災害対策特別委員会 (定数12人)

- | | | |
|---------|---------|-------|
| ◎ 中塚 隆 | ○ 中村 元彦 | 井本 有一 |
| 中村 朝人 | 川端 康史 | 永野 裕久 |
| 中庄谷 孝次郎 | 戸田 正人 | 古川 祐典 |
| 尾崎 方哉 | 中尾 友紀 | 山本 宏一 |

議会運営委員会 (定数12人)

- | | | |
|----------|---------|--------|
| ◎ 宇治田 清治 | ○ 中尾 友紀 | 中村 朝人 |
| 浜田 真輔 | 永野 裕久 | 山野 麻衣子 |
| 丹羽 直子 | 山本 忠相 | 芝本 和己 |
| 松井 紀博 | 姫田 高宏 | 奥山 昭博 |

◎委員長 ○副委員長

5月臨時会にて予算特別委員会を設置し、審査を行いました!



市民会館(仮称)市民文化交流センター

特別委員会では、市民会館(仮称)市民文化交流センター整備事業に関する入札が2度にわたり入札不調になった結果を受け、今回、債務負担行為の限度額を86億318万6千円、その期間を令和2年度から同3年度までとし、市民会館(仮称)市民文化交流センターの整備に係る予算総額が115億9千26万円となったことに対して各委員から質疑が行われました。

- | | | | | | |
|---------|----------|-------|-------|-------|---------|
| ◎ 中尾 友紀 | ○ 遠藤 富士雄 | 浜田 真輔 | 堀 良子 | 永野 裕久 | 中庄谷 孝次郎 |
| 中谷 謙二 | 森下 佐知子 | 山本 忠相 | 松井 紀博 | 姫田 高宏 | 佐伯 誠章 |

◎委員長 ○副委員長

5月臨時会の概要

開会

5月24日

- ・正副議長の選挙
- ・議席の指定
- ・会期の決定(5月24日～5月31日)
- ・議会運営委員会委員の選任 ・議員の辞職

5月27日

- ・仮議長の選任 ・常任委員会委員の選任
- ・議案説明(報告関係4件、承認関係2件、補正予算案1件)
- ・予算特別委員会の設置、委員の選任
- ・議案の委員会付託 ・請願(1件)、採決

特別委員会

5月28日～29日

- ・予算特別委員会で議案について、審査、討論及び採決

閉会

5月31日

- ・予算特別委員会の委員長報告
- ・反対討論(堀議員)、賛成討論(堀議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決
- ・議員発議(決議案1件)、採決

6月定例会の概要

開会

7月1日

- ・会期の決定(7月1日～7月23日)
- ・議案説明(報告関係10件、議案31件(補正予算案3件、条例案17件、その他11件))
- ・議員発議(1件)、地震等災害対策特別委員会の設置、採決、委員の選任

一般質問等

7月3日

- ・中庄谷孝次郎議員、森下佐知子議員、坂口多美子議員、奥山昭博議員

7月4日

- ・井本有一議員、中村元彦議員、堀 良子議員

7月8日

- ・堀田高宏議員、吉本昌純議員、中村朝人議員

7月9日

- ・山本忠相議員、南畑幸代議員、松井紀博議員
- ・追加議案の説明(工事請負契約関係3件)

7月10日

- ・佐伯誠章議員
- (P6～P9に概要掲載)
- ・議案等の委員会付託

常任委員会

7月11日～17日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

7月18日

- ・各常任委員会で議案等について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

特別委員会

7月19日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉会

7月23日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・賛成討論(堀議員)、反対討論(堀議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件6件)、採決
- ・請願(1件)、採決
- ・議員発議(決議案1件、意見書案1件)、採決
- ・賀詞奉呈

令和元年度予算(6月補正後)

一般会計	1,588億4,963万6千円 (補正額21億6,660万6千円)
特別会計及び公営企業会計	1,398億7,004万6千円 (補正額10億1,690万8千円)
合計	2,987億1,968万2千円

補正予算の概要

一般会計では、先端技術活用の創業支援、市民図書館跡地に誘致する専門職大学の施設整備助成、重度心身障害児者医療費助成事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、下水道事業特別会計で、公共下水道工事に要する経費などが計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

ピックアップ **一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。



おくやま あきひろ
奥山 昭博

公明党議員団

庁内業務へのAI導入

問 一日も早くAIの実証実験を開始し、職員の肉体的・精神的な負担軽減と市民サービス向上につながるようなAIを早急に導入すべきと考えるがどうか。

答 AIの導入は、職員の負担軽減と市民サービス向



青少年国際交流センター

青少年国際交流センターの有効活用

上に効果的な手段であると認識している。今後は、最新技術の動向や先進市の事例を注視しつつ、近々開始予定の実証実験を通じて費用対効果を見極め、AIの導入検討を行う。

問 利便性向上とおもてなしの観点から、マイクログラス等を導入し、駅や周辺施設までの送迎サービスを実施できないか。

また、ハード・ソフト両面で全国一とも言える上富田町の合宿誘致活動と助成制度を参考にし、合宿や観光で加太に訪れたくなるような補助金制度の見直しをすべきと考えるがどうか。

問 国が平成30年末に発表した「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」では、全市町村に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、妊娠中の女性、子育てに悩む保護者、虐待の危険性がある子供たちの相談に対応することとしているが、

子ども家庭総合支援拠点



ほり よしこ
堀 良子

答 青少年国際交流センターとつじが丘テニスコートや磯の浦海水浴場などをつなぐ送迎バスの導入は、利便性向上による利用者増を図る観点から、周辺道路の整備状況や利用者からの声を勘案し、関係部局とも協議しながら検討する。

また、和歌山市コンベンション開催補助金の見直しは、財政面の負担増になるが、コンベンションの誘致を伸ばすことにつながるため、今後の実績や経済的波及効果の動向を見ながら検討していく。

本市では児童虐待の未然防止、早期対応にどう取り組むのか。

答 子ども家庭総合支援拠点では、より専門的な相談対応や調査、訪問等によるソーシャルワークを行い、子供やその家庭に寄り添って養育の改善等を促す「寄り添い型」の支援に全力を挙げることが重要である。このため、子育て世代包括支援センターや教育委員会、県児童相談所等と連携強化を行い、多くの情報を共有することで、「点支援」ではなく「面支援」を目指します。

また、本市の子供一人一人が安心安全な日々を過ごせるよう、「子供に寄り添い・伴走する体制」の充実を図り、子供の命を守る体制整備に取り組む。



子どもの学習生活支援

問 子供の生活実態調査の結果、貧困と学力の関係が明らかになった。子供の学習支援が必要と判明した今、厚生労働省の「子どもの学習生活支援事業」を実施すべきと考えるがどうか。

答 学力の格差は、進学・就職を通じて貧困の連鎖につながる問題であり、生活困窮世帯の子供に対し学習の援助等を行う「子どもの学習生活支援事業」の実施を前向きに検討する。

自由民主党市議団

幼児・児童のアレルギー対策



なかむら もとひこ
中村 元彦

問 ごく少量の原因物質に触れるだけでもアレルギー症状を起こす幼児・児童がいる。例えば、牛乳パック洗浄のリサイクル体験、そば打ち調理体験、小麦粘土を

使った図工授業、節分の豆まき等が原因となることもあり、個々の幼児・児童に応じたきめ細やかな配慮、対応が必要となるが、本市の対応はどうか。

また、あらゆる場での配慮、対応について、保護者の理解を得るとともに、学級において他の幼児・児童が不審に思ったり、いじめのきつかけにならないように十分配慮する必要があると考えるがどうか。



答 アレルギー疾患の原因物質が含まれる教材や材料を使用しないなど、細心の注意を払いながら子供たちが安心して生活できるように対応している。

また、アレルギー疾患に関して、周囲の幼児・児童

が十分理解し、自然な形で受け入れることができるよう、本人と保護者の意向も踏まえて発達段階に応じた指導を続けている。今後とも幼児・児童一人一人の気持ちを大切にし、きめ細かな対応に努め、保護者の方に安心していただけるよう、子育て環境の充実を進めていく。

友ヶ島の整備

問 本年1月、全国的に有名なコスプレイヤーと友ヶ島を訪れ、市議会だより特集記事の取材を行った。島内の栈橋は、降り立った観光客が恐怖すら感じるほど老朽化している。長年の放置により事故が起こる可能性が高いとの認識はあると思うがどうか。

また、第3砲台跡まで徒歩で登ったが、道はあちこちにわだちがで、大型の石も転がっており大変歩きづらい状況であった。取材に同行したコスプレイヤーは「友ヶ島は西日本で唯一魅力のある無人島であり、今後魅力を発信し続けるので、市として道の整備を早

急をお願いしたい。」と強く要望していたので、重く受け止めていた。こうした道の現状を改善するためにも、第3砲台跡までの道は、加太にある深山第1砲台跡までのレンガ道のように整備できないか。

答 友ヶ島は多くの観光客が訪れる本市屈指の観光スポットであることから、老朽化した栈橋の整備は特に喫緊の課題として、一日も早く安全・安心に利用できるよう、利害関係者の理解をいただき、早期に整備を図っていく。

また、第3砲台跡までの道の整備を含め、文化財的な価値や観光客の安全面を考慮し、工法や費用面について研究していく。

また、第3砲台跡までの道の整備を含め、文化財的な価値や観光客の安全面を考慮し、工法や費用面について研究していく。



友ヶ島の栈橋

政和クラブ



まつい のりひろ
松井 紀博

市長のリーダーシップと人材マネジメント

問 尾花市政2期目にあつて様々な大型事業が山積みしている中、前年度末から今年度にかけて3名の局長が戦線離脱したこの現状を市長は重く受け止め、反省し、その原因を分析しなければならぬのではないか。

答 過去、職員との関係や市長としての資質について指摘を受け、改めようとしてきたが、今回の結果には市行政を預かる者として責任を感じ、反省している。職員との協議の場で、職員個々の能力と特性を把握し、評価した上でコミュニケーションを図ってきたが、負荷を掛け過ぎていた部分もあると認識している。

市長と議会の在り方

問 一つの事業をなそうとす

るには議会という世論への瀬踏み行為や意見収集などの過程を経て予算を盛りつけ、議会にその是非を諮ってこそ車の両輪で、職員が市長説明に時間を費やし、市長を重視した結果、議会軽視、市民軽視となつていくことを認識しているか。

答 重点施策について徹底的に議論を尽くしたことにより職員との協議の回数や時間が多くなるなど、結果として議会への説明が遅くなつたことはリーダーである私の責任で、大変申し訳ないと考えている。



さへき しげあき
佐伯 誠章

有吉佐和子邸移築に関して

問 有吉佐和子氏の生誕90年に当たる2021年の完成に向け、その邸宅を東京の杉並区から和歌山市へ移築・復元しようとしているが、これまでの市当局の説明を聞く限り、復元方法や将来の活用方法、加えて施設の運営管理までもプロ

ポーザルの名のもと、設計業者からの提案に委ねるなど、「丸投げ」であると言わざるを得ず、本市の偉人である有吉佐和子氏を真剣に顕彰しようとする熱意が全く感じられない。

その点、市として、単に邸宅を移築・復元するだけではなく、その功績を周知するためには、一つに絞らず、有吉文学が表現した精神、全てのものを文化として発信し、広く世間の人々の心に訴えることが必要であると考えますが、有吉作品を通じて、本市だけではなく、広く社会に対して何を伝えようと考えているのか。

答 一例として、和歌山の風土や歴史といったこともあるが、それ以外にも様々な面があると思うので、復元後の有吉佐和子邸では、伝えることを一つに絞り込むことなく、例えば、それぞれの作品をテーマとするイベントをリレー方式で行うなど、有吉作品のすばらしさや有吉佐和子氏が作品に込めた「思い」を丁寧に伝えていく。

日本共産党議員団

もりした さちこ
森下 佐知子

市職員の健康問題

問 教職員の多忙化を解消するため、給食費の会計を公会計に移行されたい。

答 地産地消を取り入れた小学校給食の良さの継承、給食費の徴収など回収事務の効率的実施も踏まえ、公会計化について検討する。

さかくち たみこ
坂口 多美子

国民健康保険料の減免

問 国保料の負担はもう限界に達している。子育て支援の観点からも子供の均等割減免を緊急に市独自で実施すべきと思うがどうか。

答 国の責任において保険料軽減の支援制度の実施が行われるべきと考え、今後とも国への要望を続けていく。

いもと ゆういち
井本 有一

公共交通／都市計画

路線バスの廃線と極端な減便をなくし、地域バスやデマンド型乗合タクシーの運営については、住民組織への財政負担をなくすように要望した。

また、開発区域に接続する道路幅の条件が緩和されたことによる交通面、防災面での問題を指摘した。

ひめた たかひろ
姫田 高宏

障害者65歳問題

問 障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に際し、障害者を中心に障害者事業所と介護事業所と市の三者が相談する仕組みが必要だと思うがどうか。

答 スムーズな制度移行ができるよう、市の職員が関係各所に働きかける。

なかむら あさと
中村 朝人

子供の貧困対策

子供の貧困対策計画を作る際、他の計画と同じ枠組みで作るべきではないとして、市の姿勢を質した。

学校司書の配置

学校図書館の運営を主体的に担うためには、専任専門の司書を正規雇用すべきと質した。

みなみはた さちよ
南畑 幸代

メガソーラー計画

問 計画を不安視する住民から市長に要望書等が届いていると思うが、どう受け止めているのか。

答 設置に反対する要望書や意見等が多数寄せられていることを非常に重く受け止めており、条例の中でしっかりと審査していきたい。

民主クラブ

やまもと ただすけ
山本 忠相

本市の財政

問 平成27年度以降、地方公会計の統一的な基準による財務書類等を原則作成し、予算編成等に活用するよう、総務大臣通知が出されている。公会計制度を導入することで、会社制度に近くなり、市民を出資者と見立てることができる。出資者である市民に本市の現状を知ってもらう必要があるが、今後どのような方法で市民への説明責任を果たそうと考えているのか。同時に、財務書類の信頼度を高めるため、公認会計士や監査法人の監査を受けるべきと考えるがどうか。

答 財務書類はページ数も多く、説明が専門的で難解であるため、より分かりやすい用語説明や解説を添えた概要版を作成し、公表を図っていく。専門家などによ



広域観光のイメージ

る監査は義務付けられていないが、今後も信頼度を高められるよう努めていく。

観光施策の広域連携

問 市長は議場で、「本市は、関西国際空港に近く、世界遺産の紀伊山地の霊場と参詣道である高野、熊野の玄関口に位置し」と答弁したが、玄関口としての機能を果たしているのか。また、アジア各国からの訪日の主な目的は自然風景・食・体験、国内観光客は食・温泉・テーマパークなどが目的であり、本市の中で全てを満たしきるのは現実的ではない。本市が持たないものを持つ他の自治体と組んで、周遊してもらう広域連携が重要だと考えるがどうか。

答 世界遺産を有する高野、熊野への玄関口として位置しているが、その機能を十分に果たしているとはまでは考えていない。現在、観光客のニーズは多様化しており、周遊していただくことが重要で、近隣自治体と連携を図り、より質の高いおもてなしへとつなげていかなければならない。本市を玄関口とした広域的な観光商品の造成に取り組み、お客様に充実した時間を過ごしていただけるよう、観光振興に努めていく。

和歌山興志クラブ



よしもと まさみ 吉本 昌純

公共交通の充実

問 本市の公共交通網の現状は、不採算となった路線バスが次々と廃止され、決して便利とはいえない。こうした中、和歌山市地域公共交通網形成計画及び和歌山市都市・地域総合交通戦

略が策定されたが、市民生活に密着した満足できる施策が行えるのだろうか。

平成29年度の調査では、本市の一般会計予算に占める公共交通関連予算の割合は、中核市の中で中間的な位置ではあるものの、上位の市とは4倍以上の差があり、平均も下回っている。本市もより一層公共交通に力を注ぎ、予算をつぎ込むべきだと考えるがどうか。

また、公共交通政策について、やらなければならぬ案件は多くあるが、市長の意気込みはどうか。



答 今後、本市としては、多極連携型のまちづくりと連携し、中心拠点と地域拠点を結ぶ基幹公共交通軸の形成や拠点における交通

結節機能の向上、地域の特性に応じた移動手段の確保等、便利で持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、国などの財源確保も合わせ、検討していく。

また、本市には鉄道、バス路線の維持や交通不便地域の解消等、公共交通に関する課題があるので、それらに優先順位を付けてしっかりと取り組み、全ての人にとって、安全・安心に利用できる持続可能な公共交通ネットワークの利便性向上を目指していく。

日本維新の会



なかしよや こうじろう 中庄谷 孝次郎

小学校・中学校の給食費

問 給食費の無償化、又は低価格化へ向けての取組はできないか。

答 多額の財源確保が必要となるため、これまでどおり学校給食法第11条に基づき行っていきたい。

小学校・中学校図書館

問 市民図書館の指定管理者が学校図書館と連携することは、教育という学校が持つ主要業務を任せることになるかもしれない。市民に十分な説明や議論をせず一企業の職員が配置されることをどう考えるか。

答 市民図書館を適正に運営できるものとして選定された指定管理者が図書館司書を小中学校に派遣し、学校図書館との連携を図ることとは特に問題ない。

声の市議会だより
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和元年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、大学誘致事業2億5600万円について。これは、市民図書館跡地に誘致する専門職大学の施設整備費用に対する補助を行うものです。

移住・定住者向け情報発信等事業150万円について。これは、加太地域における移住・定住を促進するため、地域が主体となって実施する情報発信やPRイベント等にかかる初期費用の一部を支援するものです。

議案第4号、和歌山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、日本年金機構等との情報連携が令和元年6月以降、順次開始されることに伴い、個人番号が利用可能な特定個人情報として年金給付関係情報等を追加するため所要の改正を行うものです。

議案第5号、特別職給与条例の一部を改正する条例の制定について。これは、市長の諮問に応じ開催された和歌山市特別職報酬等審議会の答申に基づき、市長の給料の引下げを行うため所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、SDGs 未来都市選定について、和歌山市SDGs 未来都市計画(素案)について、警戒レベルを用いた避難勧告等の運用について、個人住民税の課税誤りにおける対象者の方への対応状況について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



SDGsロゴマーク

厚生委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、また、付託された請願1件(大規模太陽光発電(メガソーラー)事業に関する請願書)について、採択すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和元年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、一般コミュニティ助成事業500万円について。これは、自治会の夏祭り用太鼓等備品の購入に要する費用を助成するものです。

風しん第5期定期予防接種事業7413万5千円について。これは、風しんの追加的対策として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査及び予防接種を実施するものです。



重度心身障害児者医療費助成事業2819万6千円について。これは、重度心身障害児者医療費助成制度の対象者を拡充し、精神障害者保健福祉手帳1級所持者を加えるものです。

ブロック塀等改修事業144万3千円について。これは、私立保育園のブロック塀等改修事業に対する費用の一部を補助するものです。

議案第11号、和歌山市特定教育・保育及び特定地域型保育等に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、幼児教育等の段階的無償化のため、子ども・子育て支援法施行令が改正され、3歳から5歳の児童及び市町村民税非課税世帯の満3歳未満の児童の保育料が無償となることを受け、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、平成30年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算見込み及び令和元年度国民健康保険料率等、生活保護法第78条の適用状況、子供の生活実態調査結果、和歌山市人権問題に関する意識調査、太陽光発電事業の進捗、関西電力株式会社海南発電所との公害防止協定の廃止、くみ取り手数料の減免について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

QRコードから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、議案第12号、和歌山市文化芸術基本条例の制定については、委員から議案に対する修正案が提出され、修正可決すべきものと、議案第14号、行政財産の使用許可に関する使用料条例の一部を改正する条例の制定については否決すべきものと、その他の議案4件については可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和元年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、国民文化祭開催事業300万円について。これは、加太友ヶ島における国民文化祭事業及びブレ事業並びに将来に向けた友ヶ島の活用プランの策定を委託するものです。

ブルー ツーリズム 推進事業300万円について。これは、カキ小屋施設の整備を拡充する団体に対し、整備費用の補助金を増額す



カキ小屋イメージ

るものです。

担い手等育成事業300万円について。これは、農業経営体の機械・施設導入等に対する補助金を交付するものです。

議案第12号、和歌山市文化芸術基本条例の制定について。これは、文化芸術施策に関する基本理念を示し、文化芸術の裾野拡大、創造発展、振興を図り魅力的なまちづくりを推進するために制定するものです。

議案第14号、行政財産の使用許可に関する使用料条例の一部を改正する条例の制定について。これは、市立学校の屋内運動場の屋根等に太陽光発電設備を設置して使用させる場合の使用料の規定を設けるため、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭の概要について、有吉佐和子邸復元工事設計業務委託に係る公募型プロポーザルの結果について、つじが丘総合公園について、加太スポーツ公園整備基本構想(概要版)について、中央卸売市場整備及び南用地の進捗状況について、令和元年度附属機関の会議の開催について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案19件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和元年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、洪水ハザードマップ作成事業914万4千円について。これは、国・県が管理する紀の川、和田川及び亀の川の想定最大規模降雨による浸水想定区域の公表に伴い、避難体制等の充実・強化を図るため、洪水ハザードマップを作成するものです。



増水時の亀の川

リノベーションまちづくり事業668万5千円について。これは、加太地区において遊休不動産を活用した起業を促すため、リノベーションスクールを開催するものです。

まちづくり支援事業528万円について。これは、和歌の浦区域内の明光通りにおける全体活性化構想を策定するものです。



現在の明光通り

議案第17号、和歌山市道路の構造の技術的基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、道路構造令の一部を改正する政令の公布により、自転車を安全かつ円滑に通行させるため設けられる帯状の車道部分として「自転車通行帯」が新たに規定されたことを踏まえ、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、第3回予防業務優良事例表彰消防庁長官表彰受賞、第48回全国消防救助技術大会の出場権獲得、下水道普及率及び水洗化率、国道42号和歌浦地区歩道整備事業化、市道中橋線整備について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

和歌山市議会と台湾・台南市議会は、友好交流に関する覚書を締結しました

令和元年7月10日(水)和歌山市議会と台南市議会との友好交流に関する覚書調印式を行いました。

覚書には、和歌山市議会 井上直樹議長、日台友好和歌山市議会議員連盟 遠藤富士雄会長、台南市議会 郭信良議長、台北駐大阪経済文化弁事処 李世丙処長の4名が署名し、35名の和歌山市議会議員、17名の台南市議会議員、台北駐大阪経済文化弁事処の方々とともに多くの関係者が立ち会いました。

和歌山市議会が公式に海外の市議会との間で覚書を締結するのは、平成30年6月の高雄市議会に続いてのことになります。和歌山市と台南市の交流、また台湾との交流は、これを機に様々な分野で一層深まることが期待されます。



議員連盟 紹介

議員連盟とは、議員が特定の目的をもって活動するために結成する組織です。

和歌山市議会では、和歌山市の将来を見据え、日中友好議員連盟、森林環境保全促進議員連盟、全国大会誘致議員連盟、紀の

川大堰に関する議員連盟、日台友好議員連盟、スポーツ振興議員連盟、京奈和・第二阪和連絡道路建設促進議員連盟を結成し、積極的に活動しています。

広報委員会からのお知らせ



改選後、新たに12名の広報委員が選任されました。市民の皆さんに市議会をより身近に感じていただくために、私たち広報委員が中心となって、親しみのある情報を発信します。

また、子供から大人まで、誰にでも分かりやすい議会広報を目指します。

これからも和歌山市議会の広報にご注目ください。

和歌山市議会広報委員会

【委員長】西風 章世 **【副委員長】**丹羽 直子
【委員】中村 朝人 赤松 良寛 山中 敏生
 川端 康史 山野 麻衣子 坂口 多美子
 藪 浩昭 古川 祐典 北野 均
 佐伯 誠章

※令和元年5月27日選任

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL : 432-0022(議会事務局)
 FAX : 424-9276
 Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

